

2022年4月6日

リコーと Sansan、中堅・中小企業における経理業務 DX 促進に向けた業務提携に合意  
～ 「Bill One for RICOH」の提供により、インボイス制度などの法対応も実現 ～

株式会社リコー(社長執行役員:大山 晃)は、Sansan 株式会社(代表取締役社長 寺田 親弘、以下 Sansan)と、中堅・中小企業の経理業務のデジタル化と、本年 10 月に開始されるインボイス制度などの法対応の推進を目的とした業務提携に合意したことを発表します。Sansan のインボイス管理サービス「Bill One」をベースに共同企画した新サービス「Bill One for RICOH」を、2023 年 4 月中旬頃に提供開始します。

中堅・中小企業のお客様が導入しやすいオリジナルプランの「Bill One for RICOH」を、リコーのクラウドサービス群「トレード帳票 DX シリーズ」の商品としてラインアップすることで、企業間の商取引に関わるデジタル化を促進します。提供にあたっては、リコーグループの国内販売会社リコージャパンが、全国の中堅・中小企業のお客様に地域密着の伴走型サポートで DX による業務改善を支援します。



### 業務提携の背景

企業間で交わされる請求書などの商取引書類に関わる業務は、手作業でのデータ入力や印刷・郵送などデジタル化されていない領域がまだまだ多く、人手と工数がかかっており、DX による業務効率化の促進が課題となっています。特に中堅・中小企業では、大手企業と比較して人員や費用を確保できず、DX 対応に遅れが生じている現状があります。また、電子帳簿保存法が 2022 年 4 月に施行され、インボイス制度の導入も本年 10 月に予定されるなど、国税関係の書類に関する法改正が相次ぎ、帳票の電子化や電子化したデータの保存の対応が各企業に求められ、対応策に不安を抱える企業も少なくありません。

Sansan が提供するインボイス管理サービス「Bill One」は、郵送で届く紙の請求書やメールに添付される PDF の請求書など、あらゆる請求書をオンラインで受領・データ化し、月次決算の加速を後押しするインボイス管理サービスです。電子帳簿保存法やインボイス制度への対応など、請求書業務のデジタル化需要の高まりを背景に、業種や業界問わず数多くの企業に利用されており、クラウド請求書受領サービスでマーケットシェア No.1\*を獲得しています。

株式会社リコー <https://jp.ricoh.com/>

報道関係のお問い合わせ先 広報室 TEL : 050-3814-2806 (直通) E-mail : [koho@ricoh.co.jp](mailto:koho@ricoh.co.jp)

お客様の問い合わせ先 問い合わせフォーム : [https://www.secure.rc-club.ricoh.co.jp/cloud-ocr\\_mitsumori\\_form](https://www.secure.rc-club.ricoh.co.jp/cloud-ocr_mitsumori_form)

一方、リコーは、お客様が安心してビジネスを継続できる環境の提供を目的に、企業間の商取引で行われる受発注・請求業務の電子化や業務効率化をサポートする「トレードエコシステム事業」を推進しています。具体的には、「RICOH 受領請求書サービス」「RICOH 受領納品書サービス」や「MakeLeaps(メイクリープス)」などの“トレード帳票 DX シリーズ”の提供を通して、お客様のバックオフィス業務の効率化とデジタル化を提案してまいりました。

これまでもアナログ中心の経理業務における DX を推進してきた両社が提携することで、中堅・中小企業の DX を支援できると確信し、今回の決定に至りました。

※デロイト トーマツ ミック経済研究所「驚異的な成長が見込まれるクラウド請求書受領サービス市場の現状と将来」(ミックITレポート2022年7月号)

## 今後の展開

まずは「Bill One for RICOH」の提供を進めていきます。今後は「トレード帳票 DX シリーズ製品」との連携によって、リコーの共創プラットフォーム「RICOH Smart Integration (RSI)」上でのデジタルデータの活用など、継続的な機能の拡充や販売体制の強化について両社で検討を進めてまいります。

リコーと Sansan は、デジタルの力でさまざまな業務に関わる情報共有や、業務プロセスの効率化を支援することにより、お客様の DX 促進に貢献します。



## 「トレード帳票 DX シリーズ」について

「トレード帳票 DX シリーズ」は、商取引のさまざまな業務プロセスをデジタル化するためのサービス群の総称で「RICOH 証憑電子保存サービス」、「MakeLeaps(メイクリープス)」、「RICOH 受領請求書サービス」、「RICOH 受領納品書サービス」、「RICOH Trade Automation」、「RICOH Contract Workflow Service」の 6 サービスで構成されます。各サービスは互いに連携することができ、業務効率化や法対応に合わせて組み合わせることが可能です。さらには、他社製品である会計システムや「RICOH kintone plus」等の営業支援システムとも連携することで、業務フロー全体のデジタル化を実現します。

## 請求書受領から、月次決算を加速する「Bill One」

Bill One は、Sansan 株式会社が提供するインボイス管理サービスです。郵送やメールといったさまざまな

方法・形式で届く請求書をオンラインで一括受領し、素早く正確にデータ化。請求書をクラウド上で一元管理することで、アナログで非効率な請求書業務をデジタル化します。インボイス制度や電子帳簿保存法にも対応し、月次決算業務を効率化することで、企業経営における意思決定のスピードを加速します。

## Sansan 株式会社 会社概要

「出会いからイノベーションを生み出す」をミッションとして掲げ、働き方を変える DX サービスを提供しています。主なサービスとして、営業 DX サービス「Sansan」やキャリアプロフィール「Eight」、インボイス管理サービス「Bill One」、契約 DX サービス「Contract One」を国内外で提供しています。

設立:2007年6月11日

URL:<https://jp.corp-sansan.com>

所在地:150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-52-2 青山オーバルビル 13F

資本金:65億11百万円(2022年11月30日時点)

事業内容:働き方を変える DX サービスの企画・開発・販売

Sansan <https://s.sansan.com>

Eight <https://8card.net>

Bill One <https://bill-one.com>

Contract One <https://contract-one.com>

## ■関連情報

トレード帳票 DX シリーズ

URL : <https://www.ricoh.co.jp/products/concept/trade-dx>

※Bill One は、Sansan株式会社の登録商標です。

※PDFは、Adobe PDFです。

※社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

---

## | リコーグループについて |

リコーグループは、お客様のデジタル変革を支援し、そのビジネスを成功に導くデジタルサービス、印刷および画像ソリューションなどを世界約200の国と地域で提供しています(2022年3月期グループ連結売上高1兆7,585億円)。

imagine. change. 創業以来85年以上にわたり、お客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもリーディングカンパニーとして、“はたらく”の未来を想像し、[ワークプレイスの変革](#)を通じて、人々の生活の質の向上、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。

<https://jp.ricoh.com/>